

長野県建築士会
佐久支部

ちしよ



戸塚酒造

佐久の蔵元

～地道に、生真面目に
ひたすら酒を造る。～

戸塚酒造株式会社

佐久市岩村田752

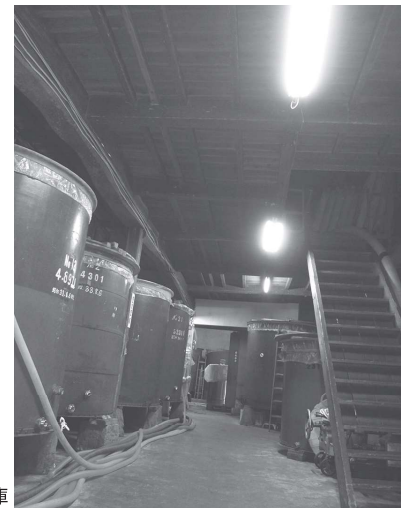
承応2年(1653年)創業。中山道岩村田宿で、生産量を増やさず少量でも品質一筋の道を歩んできた、日本一小さい老舗酒蔵です。

より高い酒質にするため、基準値以上に削り込んだ酒米と、増醸酒造りを廃止し米アルコールで醸した酒造りにこだわっています。

「清酒寒竹」は、海外での評価も高い逸品です。



店舗



貯蔵庫



樽仕込み

支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
佐久支部協議会	4～5
事業中間報告	6
委員会活動について	7～9
新年講演会	10
まちづくり活動	11
特別寄稿	12
着任挨拶	13～14
新会員の声	14
賛助会員の紹介	15
事務局より	16

モノヅ

ご挨拶

(一社) 長野県建築士会佐久支部

支部長 荻原 白



盛夏の候、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

2月15日の支部臨時協議会において二期目の支部長の任をご承認頂

きました。支部会員の皆さまの暖かいご支援とご協力により、活発な楽しい支部活動ができる環境を整えていきますので、二期目もどうぞよろしくお願い致します。

今年度から一般社団法人長野県建築士会の執行部も場々新会長体制となり『平成27年度の事業計画は、建築士会活動の原点に戻って、夢のある会、たくましい会、信頼される会、楽しい会を目指す』と方針がでました。

佐久支部も、前記事業計画を基本に「夢のある建築士会を目指して」具体的な活動を実践し、本会及び他支部に強くアピールして行く所存です。建築士会という組織に入って何かメリットがあるの？と良く耳にしますが「組織に何かしてもらおうこと」より「自分が組織の為に何ができるか」を考えて活動する会員さんが増えることを願い、新入会員の入会を促進し、諸先輩の方々にはご自分が経験なさったことなどを若い会員さんにお話して頂く機会を今年から計画します。昨年より15支部中の会員数は佐久支部が一番です。4月以降に佐久支部に何人かの若い建築士さんの入会がありました。また、賛助会員さんも現在22社となり活発な活動の基盤

創りが出来てきております。

平成27年度が始まって早々ですが、6月19日(金)関東甲信越建築士会ブロック会・青年建築士協議会 群馬大会が磯辺温泉で開催されました。佐久支部青年女性委員会の実践活動『まちづくりの変革に挑む ～小諸のまちなみと市民の声～』を長野県建築士会の代表として発表し見事最優秀賞を獲得しました。一昨年は島根県松江市で開催された全国大会に『佐久穂のまちづくり』を発表し全国で最優秀賞を受賞しました。今年の全国大会は金沢市で10月に開催され、その大会で関東甲信越ブロック代表として発表します。

10月の金沢での全国大会に沢山の支部会員さんに参加して頂く為には支部活動基金の一部取り崩しを幹事会に計った上で実施計画を練っていく所存です。又、今秋は三団体の研修旅行を事務所協会の担当で実施する為、10年間連続開催した建築士ネットワークは5月13日支部協議会で次年度28年に実施と承認されました。が、新年講演会は例年より予算を僅か増やし講師の先生の幅が拡大しましたので、新年講演会の内容・講師の先生のご要望が有りましたら、私共三役にご連絡頂ければ叶うように努力します。

これからも建築士という専門知識を持つ資格者団体として地域の皆さまとの交流連携を通してより良い郷土を創る為に支部活動は活発な活動を行って行きます。

毎回くどくて申し訳ありませんが、私共、建築士会佐久支部が地域社会から求められ期待される様にみんなで頑張る、その成果として大きな《花》を咲かせられたらどんなに素晴らしいことかと思っております。

会員の皆さま、今年も一緒に《花も実もそして力もある》佐久支部にしていきましょう。

ご挨拶

長野県佐久地方事務所

建築課長 上原 佳司



佐久地方事務所建築課長の上原佳司です。

日頃より、会員の皆様方には、長野県建築・住宅行政に多大なる御支援・御協力をいただきありがとうございます。

浅間山・八ヶ岳・蓼科の美しい山並み、千曲川の清流、広大な農村風景など、自然環境に恵まれた美しい高原のまち「佐久」での勤務が3年目を迎えました。

今年も、「気負わず」、「臆せず」、「侮らず」の心構えで勤務していきたいと思っておりますので、よろしく御付き合いをお願いします。

小諸から山梨県小淵沢までの小海線が全線開通して、今年で80年となります。高原鉄道として美しい山間地を走る小海線は、当初はSL列車が走り、そしてディーゼル車両へと代わり、今は一部の車両に最新式のハイブリット車両が地域の人達や観光客の足となっています。今後、いろいろな80周年記念イベントが展開されるようですが、佐久地域の活性化や観光などの経済波及効果に期待したいと思っています。

また、小海線沿線の川上村出身の日本人宇宙飛行士の油井亀美也さんが、ロシアの宇宙船ソユーズにおいて5か月間の活動が予定されており、話題の多い佐久地域です。

一方、自然に目を向けて見ますと、各地で活火山の動きが活発になってきておりますが、昨年9月には御嶽山の噴火があり、今年、遠く鹿児島県の口永良島で火山噴火がありました。6月11日に浅間山の噴火警戒が火口周辺規制のレベル2に引き上げられ、その後も山頂火口でごく小規模な噴火が2度あるなど、火山活動が高まってきました。今のところ地元住民生活に

は支障がないということですが、これから観光シーズンを迎え風評被害になることが心配になります。今後の浅間山の火山活動に注意していきたいと思っております。

さて、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を基本目標とする新しい5か年計画「しあわせ信州創造プラン」が3年目を迎えます。今年度もこの計画に基づき、県が進める各事業を推進してまいりますので、引き続き御理解・御協力をお願いいたします。

県では今年度、一人ひとりが生きがいを持ち、健やかで幸せに暮らせる「しあわせ健康県」づくりを進めるため、「信州ACE(エース)プロジェクト」をスタートしました。ACEの「A」はAction(体を動かす)、「C」はCheck(健診を受ける)、「E」はEat(健康に食べる)を表したものです。会員の皆様も様々な健康づくりに取り組んでいただき、健康な体の維持管理に努めてください。

建築を取り巻く情勢ですが、経済動向の主要な指標のひとつであります「新設住宅着工戸数」の集計では、全国が対前年度比10.8%の減、県内は11.9%の減、佐久管内は17.8%の減となっており、消費税増税の駆け込み需要の反動の影響と見受けられ、建築業界には厳しい状況が続いております。

6月1日から建築基準法の一部改正が、6月25日から建築士法の一部改正が、それぞれ施行されております。皆様お一人おひとりが、改正内容を十分に御理解いただき、今後の業務を円滑に実施していただきますようお願いします。

「第27回青年・女性建築士の集いin飯山」において、建築士会佐久支部の活動が認められ一昨年に続き優勝され、更に、長野県代表として関東ブロック大会でも見事に優勝されました。全国大会で更なるご活躍をご期待いたします。

今後も、活力に満ちた魅力ある佐久地域を安心・安全なまちづくりに取り組んでまいりますので、より一層の会員の皆様方のお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。

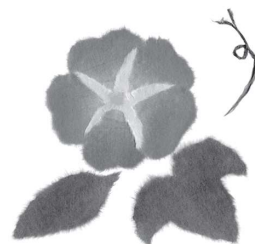
結びに、建築士会佐久支部の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝と御活躍を御祈念申し上げます。



平成27年度 佐久支部協議会

平成27～28年度 (一社) 長野県建築士会佐久支部 役員名簿

佐久支部第5回協議会が去る5月13日、佐久グランドホテルに於いて、盛大に開催されました。
各役員の氏名は下記のとおりです。



支部長	荻原 白						
副支部長	赤尾 邦弘 (青年女性委員会)						
	山口 康憲 (総務企画委員会)						
	土屋 龍男 (情報広報・交流委員会)						
	佐藤 守英 (教育事業委員会)						
	高橋三七人 (社会貢献委員会)						
幹事	大井 正広 (小諸)	大竹 雅英 (小諸)					
	清水 元旦 (小諸)	高橋 厚志 (小諸)					
	山浦 孝志 (小諸)	上原 明彦 (佐久)					
	白田 幸夫 (佐久)	柏木 邦彦 (佐久)					
	菊池 弘之 (佐久)	高地 菊男 (佐久)					
	小平 稔 (佐久)	瀬下 緑 (佐久)					
	竹花 彰男 (佐久)	星野 武光 (佐久)					
	茂木 隆 (佐久)	吉澤 和彦 (佐久)					
	小佐波哲哉 (御代田・軽井沢)	土屋 一男 (御代田・軽井沢)					
	中里 忠雄 (御代田・軽井沢)	古越 徳秋 (御代田・軽井沢)					
	真嶋 直行 (御代田・軽井沢)	山田 功 (御代田・軽井沢)					
	飯沼 勝智 (川西)	大町 栄一 (川西)					
	中島新八郎 (川西)	箕輪 義則 (川西)					
	井出 正臣 (南佐久)	小須田美一 (南佐久)					
	櫻井 和也 (南佐久)	篠原 一男 (南佐久)					
	中嶋 洋 (南佐久)	油井 満夫 (南佐久)					
	新津 輝秋 (青年女性委員長)						
顧問	柳澤 弘 青木 隆夫 伊藤 祥二郎 赤尾 靖雄 重田 元一						
参与	阿部 義則 山崎 武信 小林 勲 林 稔 土屋 秀人						
	小泉 英夫 望月 哲男 岩崎 行夫 下平 昭夫 山浦 伸一						
	小澤 忠						
相談役	上原 佳司 (長野県佐久地方事務所建築課長)						
常任幹事	田尻 和久 (長野県佐久地方事務所建築課担当係長)						

平成27年～28年度 建築指導員名簿

小諸地区	大竹 雅英・篠原 功・山浦 孝志
佐久地区	新津 輝秋・柳澤 洋介・工藤 琢之・中嶋 洋
御代田・軽井沢地区	小泉 仁・藤巻 宏康・吉澤雄一郎
川西地区	小林 薫
南佐久地区	芋川 聡・篠原 光洋

平成27～28年度（一社）長野県建築士会佐久支部 幹事会委員名簿

佐久支部第2回幹事会が去る6月2日、佐久グランドホテルに於いて開催されました。

各委員の氏名は下記のとおりです。

※下記氏名は幹事会委員名のみ掲載しました。一般委員名は一部しか掲載しておりません。

総務企画委員会

担当副支部長 山口 康憲
 委員長 白田 幸夫（佐久）
 副委員長 中島新八郎（川西）
 委員 清水 元旦（小諸）
 菊池 弘之（佐久）
 土屋 一男（御代田・軽井沢）
 篠原 一男（南佐久）

教育事業委員会

担当副支部長 佐藤 守英
 委員長 茂木 隆（佐久）
 副委員長 小平 稔（佐久）
 副委員長 古越 徳秋（御代田・軽井沢）
 委員 箕輪 義則（川西）
 竹花 彰男（佐久）
 小須田美一（南佐久）

情報広報委員会

担当副支部長 土屋 龍男
 委員長 山浦 孝志（小諸）
 副委員長 上原 明彦（佐久）
 副委員長 飯沼 勝智（川西）
 委員 大竹 雅英（小諸）
 中里 忠雄（御代田・軽井沢）
 櫻井 和也（南佐久）

社会貢献委員会

担当副支部長 高橋三七人
 委員長 吉澤 和彦（佐久）
 副委員長 高橋 厚志（小諸）
 副委員長 山田 功（御代田・軽井沢）
 委員 星野 武光（佐久）
 油井 満夫（南佐久）

交流委員会

担当副支部長 土屋 龍男
 委員長 柏木 邦彦（佐久）
 副委員長 大町 栄一（川西）
 委員 大井 正広（小諸）
 高地 菊男（佐久）
 竹花 彰男（佐久）
 小佐波哲哉（御代田・軽井沢）
 中嶋 洋（南佐久）

青年女性委員会

担当副支部長 赤尾 邦弘
 委員長 新津 輝秋（佐久）
 副委員長 瀬下 緑（佐久）
 副委員長 荒木 貴志（一般・小諸）
 委員 飯田 智（一般・佐久）
 重田 仁志（一般・川西）
 星野 武光（佐久）
 真嶋 直行（御代田・軽井沢）
 井出 正臣（南佐久）
 片井 英治（一般・佐久）
 鎌田賢太郎（一般・佐久）
 佐藤 穂高（一般・佐久）
 星野 仁（一般・佐久）
 柳澤 洋介（一般・佐久）
 高見澤 晃（一般・南佐久）

他45歳以下の男性及び女性



平成27年度 事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
3. 9～4. 13	二級・木造建築士試験申込用紙配布	
4. 1～5. 11	一級建築士試験申込用紙配布	
4. 15	第5回三役会及び第5回幹事会	佐久グランドホテル
4. 21	第1回青年女性委員会	こてさんね
4. 24	県三役会	長野県建築士会館
4. 30	県三役会及び理事会	ホテル国際21
5. 1	第2回青年女性委員会	相生会館
5. 13	平成27年度支部協議会 第1回幹事会及び三団体合同懇親会	佐久グランドホテル
5. 16	TEDスピーカーに学ぶ、プレゼンの極意講話 及び新入会員歓迎会	こてさんね
5. 23	第65回県通常総会	深志神社梅風閣
5. 26	第1回新入会員対象建物見学会	軽井沢町内
5. 28	第3回青年女性委員会	相生会館
6. 2	泉小学校6年生 景観授業	泉小学校
6. 2	第1回三役会及び第2回幹事会	佐久グランドホテル
6. 4	第4回青年女性委員会	本町まちや館
6. 5	県理事会	長野県建築士会館
6. 7	第2回新入会員対象建物見学会	軽井沢町内
6. 8	佐久南インター景観をつくる会 花植え作業	桜井地区・岸野地区
6. 12	県青年女性委員会	長野県建築士会館
6. 18	場々会長と支部役員との懇談会	佐久合同庁舎
6. 19	関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会「群馬大会」	群馬県
6. 22～23	建築指導員 委嘱状交付式	佐久合同庁舎
6. 23	県総務情報委員会	長野県建築士会館
6. 23	第1回交流委員会	佐久グランドホテル
6. 25	第1回情報広報委員会	佐久グランドホテル
6. 29	県防災委員会	長野県建築士会館
6. 29	第1回教育事業委員会	佐久グランドホテル

平成27年度 総務・企画委員会活動について

総務・企画委員長 臼田 幸夫

2月の臨時支部協議会で荻原支部長が再選され5月の通常協議会において副支部長以下幹事38名が承認されました。支部長より総務・企画委員長を2期目も努めてほしい旨の要請がありました。熟慮の末、執行部の皆様と共にもう1期汗をかかせていただく決意をしましたので本年度も引き続きよろしくお願い致します。

昨年度は会員相互の親睦と建築他団体との懇親を深めるための活動としてのゴルフコンペ、（東信ブロック・三団体）及び視察研修旅行が全て佐久支部或いは建築士会の担当となり総務企画委員会の企画で行いました。本年度は他支部或いは他団体担当の為、その活動への参加及び協力を呼びかけていきますのでその節はよろしくお願い致します。すでに終了した活動もありますが今年度の主な活動及び参加協力は次の通りです。

1. 東信ブロック会員ゴルフコンペ
上小支部担当 (7月1日)
2. 三団体ゴルフコンペ
防協担当 (未定)
3. 三団体合同視察研修旅行
事協担当 (10月16日・17日)
4. 建築士会全国大会(石川県)(10月30日)
5. 建築士フォーラム (11月14日)
6. 新年講演会の開催 (平成28年2月予定)

建築士会のみならず様々な団体では会員の減少に歯止めが掛からずに苦しんでいる中、佐久支部は青年・女性委員会の活躍や賛助会員の皆様の入会もありかろうじて踏ん張っている状態だと思います。総務・企画委員会では幅広い活動を通じて支部及び各委員会のスムーズな運営と会員相互の親睦を図り支部活動がより活発になり会員の増加につながるよう更に尽力致しますので今後とも宜しくお願いいたします。

平成27年度 教育・事業委員会活動について

教育・事業委員長 茂木 隆

前年度から引き続き委員長に就任致しました。前期就任当初描いた構想が思う様に実現できずに一年が過ぎ、二年目も殆ど進歩なく過ぎてしまい自分の力の無さを思い知らさせられました。今年度委員長再任の要請が来た時も引き受けられない旨をお伝えし何度かお断りを致しましたが、最終的には支部長の任命により継続することとなりました。

前期を顧みて、何故できなかったのかの要因が多少判って来たことも有りますので、そのことを踏まえ改めて仕切り直ししたいと考えておりますので、委員会共々皆様の更なる御協力を宜しくお願い申し上げます。

さて、当委員会の活動内容はその時々の実務講習会の企画実施と、隔年で行われる佐久地域建築文化賞が主な活動内容となっています。

実務講習会につきましては省エネルギー関係が今年も主になると思いますが、この種の講習会は本会、事協など毎年数多く企画されておりますので、内容などあまり重複しない様な企画ができればと考えております。

省エネルギー関係ばかりでなく、会員の皆様方からの要望などがあれば気軽にお声掛けください。当委員会に諮り対応して参ります。

必ずしも大きな講習会でなくとも、小規模な勉強会でも構わないと考えております。これは就任当初からの考えで有りますので是非企画したいと考えております。たくさんの方の意見をお待ちしておりますので宜しくお願い申し上げます。

又、実務講習会の企画につきましては、毎回当支部の賛助会員でもあります各業者の方々の多大な御負担と御協力を戴きながら開催されております。

毎年賛助会員になられる方が増えて来ていることも有り、当委員会も実務講習会等を通じお互いのより良い関係を築く為の中心となる立場と考えております。

又、佐久地域建築文化賞は本来今年が開催年でありましたが、残念ながら今年が開催を見送ることに決定しております。

次年度以降の開催となりますが、出品作品の応募期間が延長されると思いますので、初めて応募される方、又、特に若手建築士の方々の数多くの作品の応募をお待ちしております。

最後に本委員会を運営して行くにあたり、皆様のより一層のご指導、御協力を重ねてお願い申し上げます。

平成27年度 社会貢献委員会の活動について

社会貢献委員長 吉澤 和彦

本年度も委員長を努めさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

社会貢献委員会では、メイン事業となっておりますウッドクラフトを、本年もイオン佐久平様のご協力を頂きまして、二日間の日程で行ないたいと計画しています。

ウッドクラフトは、加工・組立指導等、当日の二日間も多勢の会員の皆様にご協力を頂き大変好評を得ております。建築士会佐久支部を挙げての一大イベントではないかと自負しておりますが、本年も委員一丸となって進めていきたいと思っております。

又、会員の皆様の新しいアイデア・ご意見等ありましたら、計画を進めていく上で参考にしていきたいと思っておりますので、よろしく願い致します。

27年度の事業計画

- ・ウッドクラフトの企画・運営
- ・支部連絡網の整備
- ・応急危険度判定 連絡網の整備
- ・一般の方と廻る建物見学

以上のような事業を予定しています。

社会貢献委員会の事業に大勢の会員の皆様のご参加をお願い致します。



平成27年度 情報広報委員会の活動について

情報広報委員長 山浦 孝志

情報広報委員会は土屋副支部長の下、幹事6名、委員10名、計17名で構成されています。

第1回委員会を6月25日に開催し、以下の項目について話し合いをしました。



① 事業計画について

会報ちくまの発行・支部HPの管理・CPD認定申請手続き・他

少予算の中、各委員で出来る限り取材活動を積極的に行ってもらおう。

② 支部ホームページについて

各委員会予定・講習会の日時など充実し活発化する。

会員以外も閲覧するので、掲載内容には充分注意する。

③ 支部会報「ちくま」の企画について

表紙をNo. 41号から「佐久の蔵元」に変更して、酒蔵シリーズから掲載を始め、今回の53号で13回目となります。

佐久地域の13酒蔵は今回号で全て掲載される事になります。酒蔵以外にも蔵が多いので、「佐久の蔵元」を継続するかを委員会で検討中です。

会員増強につながる掲載記事を考える(新入会員の声、会員の声の充実・他)

また支部会報「ちくま」は会員の方々の協力で成り立っています。より良い内容にするためにも皆さんの協力が必要です。これからも原稿依頼のお願いには快く受けて下さいますようお願い致します。

会員の皆さんと仲良く楽しく委員会活動を行っていききたいと思います。

平成27年度 青年女性委員会の活動について

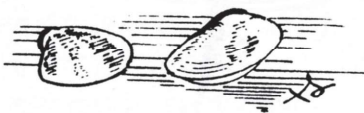
青年女性委員長 新津 輝秋

佐久支部青年女性委員会では、平成26年度に小諸市において信州大学経済学部武者ゼミナールと協同で小諸の町並み調査及びアンケート調査を実施し、小諸市の歴史的背景を踏まえた現在の小諸市が抱える問題や特色を調査・研究してきました。調査・研究の内容は今年の2月に開催したシンポジウムや書籍として出版した「信州まちなみスタディーズⅡ<小諸>坂のある城下町の曲がり角」にて公開しています。

平成26年度の活動については、他団体からの注目も高く、小諸市商工会議所主催のまちづくり勉強会において当活動の発表を行いました。また、小諸市のコミュニティテレビで特集番組を組んでもらっており今回の活動について継続的な情報発信を行ってもらっています。さらには、小諸市議会特別委員会において活動報告を行い市議会議員との意見交換を行いました。

今年度の活動については、昨年度調査活動を行った地域の中で氷地区に焦点をあて活動を行っていかうと考えています。

氷地区は、地域の共有財産として自然の地形を生かした氷室が点在しており氷室を利用した氷の生産や食品・養蚕の貯蔵所として活用されていました。しかし、現在ではそれらの多くは利用されておらず中には、損傷が激しくこのまま放置しておくとうり利用不可能になってしまうものも数多くあります。今回、青年女性委員会では、現在使用されていない氷室を修復し地域の財産の保護及び、小諸市郊外に存在する新たな小諸の魅力の再発掘を行えたらと考えています。平成26年度の活動をきっかけに協力体制を築いている商工会議所や小諸市内の民間団体や行政などと連携し、氷室を利用したイベントの開催や、夏でも気温を一定に保てる氷室の特性を生かした商品開発を行う予定です。



平成27年度 交流委員会の活動について

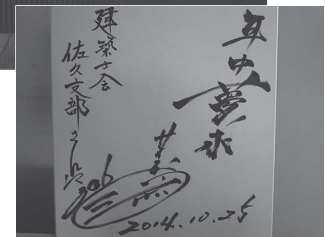
交流委員長 柏木 邦彦

本年も、引き続き委員長を務めさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

平成26年度は、6月セミナー、8月親睦ソフトボール大会、10月建築士ネットワーク、27年1月建設業登録している賛助会員との意見交換会と活発に活動させていただきました交流委員会、皆様のご協力に感謝申し上げます。



平成26年度
建築士ネットワーク
特別講演会



先ごろ開かれた委員会にて今年度の活動計画を下記のように計画いたしました。

1. 親睦ソフトボール大会
平成27年8月29日(土) 午前8時～
小諸市営球場
2. 会員拡大事業
平成27年12月(予定)
先輩方との意見交換会
3. セミナー(教育事業委員会と協力)
日時 検討中
佐久平交流センター
4. 建築士ネットワーク
平成27年度は中止

特に2.の会員拡大事業に関しまして、建築士ネットワークが中止になった分、広く会員の皆様の声をお聞かせいただき、会員の拡大に繋がりたいと考えております。

今まで以上のご指導、ご協力、ご参加を宜しくお願い申し上げます。

新年講演会

“明日のアジアを担う子ども達のために” 「ISAK代表理事 小林りんさんの講演をきいて」

依田 絵美

多様な価値観を受け入れ、活かすことのできる新たな『チェンジメーカー』を育てたいという学校理念の話からスタートしました。

私は、中学3年の息子がいて、ちょうど学校を選ぶという時期だったので、とても興味のある内容でした。



りんさんは高校1年生の時に、日本の教育に違和感を感じ奨学生として単身カナダに留学し、メキシコの友人の家にホームステイした時に、当たり前のように教育を受けられる自分の環境が恵まれている事に気付いたそうです。

この17歳の経験が、後の『学校をつくる』という原点になったと話してくれました。

その後、東京大学で開発経済学を学び、20代はひたすら成長できる場に身を置きキャリアを積み29歳の時カナダの高校の同窓会で、自分しかできない事をやっていこうとの思いが明確になったそうです。

2004年30歳でスタンフォード大学で国際教育を学び、2006年ユニセフのフィリピン事務所で貧困層教育に携わっていたころ、15万人のストリートチルドレンの現状を知り、子供たちを救いたいと活動中、圧倒的な格差社会に直面し、貧困層教育と同時に、リーダーシップをとれる

人材の必要性を感じたそうです。

りんさんのそれまでの経験と思いが繋がった瞬間が2007年にプロジェクトの生みの親、谷家徹氏と出会い『学校をつくろう』と言ってくれた事だったそうです。

2008年に帰国し、ISAKの立ち上げに挑むが、資金調達・土地探しなど困難を乗り越え2010年のサマースクールの成功が転機となり、メディア取材を受け、寄付が集まるようになり2014年に第1期生50名のもと高校1年～3年対象の全寮制のISAKが開校しました。

「このプロジェクトにあう為に今までがあると思えた！！」と目を輝かせるりんさんは、女性としてとても尊敬できます。



りんさんのこの取り組みが、日本の学校の教育を変える風穴をあけたことは、間違いありません。個性によって学校を選択でき、卒業生が自分の意志で未来を切り開いていける教育が増えていけば良いなとお話をきいて思いました。

このような貴重なお話がきける機会をつくって頂き本当にありがとうございました。

地域に密着した「未来」を考えるまちづくり活動

青年女性委員長 新津 輝秋

佐久支部青年・女性委員会では近年、地域に密着したまちづくり活動を通じて、建築士の資質向上に努めています。平成22・24・25・26年には長野県地域発元気づくり支援金の助成を受け、地域での実践活動を行ってきました。

平成22年度に長野県地域発元気づくり支援金事業として採択された植樹事業「みんなでネムノキ植えロード」では、佐久南インター開通に伴う景観育成を目的とし佐久市泉地区から岸野地区にかけてネムノキの植樹を行いました。現在では、沿線のネムノキの剪定と周辺の空きますへの花植え、草むしりといった維持管理を「佐久インター景観を作る会」として、毎年6月から11月にかけて、岸野地区の有志の方や地元企業、泉小学校の6年生児童と共に行っています。泉小学校6年生児童には花植え作業に先立ち、当委員会で作成したプログラムを用いた景観に関する授業を1時間受けてもらい、自分達の暮らす地域の景観を自分達の手で作りに上げていく重要性を感じてもらえればと考えております。

平成24・25年度には「佐久穂町の既存近代建築物再考によるまちづくり」として、信州大学経済学部武者ゼミナールと協同にて、佐久穂町における近代建築物と歴史に関する調査活動及び既存建物の清掃ボランティアやイベントの開催を通じての建物の利活用の模索、一連の調査をもとに小中学校でのワークショップや景観授業の開催、それらの発表の場としてのシンポジウムの開催や書籍の出版を行いました。この事業については、平成25年10月に開催された建築士会全国大会(島根)において最高賞を受賞しており、ご存じの方も多いかと思えます。

佐久穂町での一連の事業については今後、佐久穂町在住の青年建築士のメンバーが中心となり、より地域と連携した形での活動を行って行くところです。私たち青年・女性委員会のメンバーは佐久全域に及びますので、活動の範囲を佐久市や南佐久に限定せず、青年・女性委員会でまちづくりの一つの流れを作った後は、その地に暮らす地元の建築士が中心になってその活動を引き継ぎ、地域の中でリーダーシップを発揮してもらうことを理想と考えております。そのため、平成26・27年度は小諸市を中心に地域での活動を行っております。

平成26年度の事業については、佐久穂町での事業に引き続き長野県地域発元気づくり支援金

の助成を受け、信州大学武者ゼミナールと協同で小諸市の「過去・現在・未来」を考える調査活動を行いました。

小諸市の町並みを形成してきた歴史「過去」についての調査を信州大学経済学部の学生さんが担当し、小諸市在住の建築士がアドバイザーとしてサポート。

市庁舎周辺の再開発を核とした、小諸市が掲げるコンパクトシティ構想や小諸市民が小諸市に抱く思いを調査するために当委員会と小諸市建築士会協同でのアンケート調査の実施。

小諸市の「未来」を考える場として、建築士会と信州大学協同で行った調査活動の発表と、小諸市の今後の在り方の一つを提案したシンポジウムの開催。そして、一連の活動を1冊の本「信州まちなみスタディーズⅡ<小諸>坂のある城下町の曲がり角」として出版。



一連の活動について、コミュニティテレビこもろの取材を受け、また、小諸市議会の特別委員会に招かれて一連の活動について発表を行ったりと、建築士会の活動について小諸市内で注目が高まってきていると感じています。

また、6月19日に開催された関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 群馬大会では佐久支部青年女性委員会が長野県代表として各都県別活動報告を行いました。結果は、おかげさまで平成25年度に引き続いての最優秀賞を受賞することとなりました。10月の全国大会に向け、平成27年度の活動も小諸市在住のメンバーを中心に活発に行っていきたいと考えております。

特別寄稿

鹿児島で思う…



長野県建築士会名誉会長 出澤 潔

浅間山が噴火警戒レベル2に引き上げられ、
火山口から2kmの範囲内に立ち入りが禁止されたと朝刊が報じている。

5月に訪れた桜島は噴火の兆候は少ないとはいえ所々灰色の火山灰に覆われ、新緑である筈の緑がくすんだ緑に変色し自然界の摂理を見せつけていた。

日本の近代史のヒーロー達の故郷、鹿児島は歴史の重みを此处かしこに感じさせる。島津家19代光久の別邸は奇岩奇石の岩山を背景に、錦江湾と桜島を借景にして築造されている。観光地化している今とは違って、往時は自然を舞台にした素晴らしい場が創られていたことだろう。やや離れて立つ「集成館」は島津家28代斉彬、29代忠義がこれからの日本を強く、豊かな国にしようと様々な産業を興した遺産の場である。

世界から孤立化しようとしていた日本の将来を思いこのような事業を推し進めた偉人達の姿を思う時、こうした人々の力で今の私達が在る事をあらためて思った事だった。

知覧武家屋敷群の景観は私に新たな美しさの基準を教えてくれたような気がする。建築の持つ空間の美しさ、建築と建築が重なり合って創り出す空間の美しさとは違った美しさが此处にはある。自然の持つ美しさと人の歴史が醸し出す美しさなのかも知れない。重伝建保存地区に選定され整備された武家集落は、地元で産出されたであろう石で組まれた石垣と細くて長い葉を持つイヌマキの生垣の簡素な材料で統一され、えも言われぬ美しい空間と景観を生み出している。集落の道とそれぞれが多少の好みを表した門構え・屋敷の姿からは凛とした美しさと清潔さを感じることが出来る。

観光客が少ない静謐な集落の道を歩きながら、今私達の周りで行われている「住まいづくり」の姿に思いが及んでしまう。経済行為としてのだけの「住まいづくり」、お互いが競い合う「作品づくり」などなど、それらの事は地域社会にとってどんな意義があるのだろうかなどと余計

なことを考えていた。

この美しい場所から少し離れたところに知覧特攻平和会館がある。太平洋戦争の末期に、ここを拠点にして若人が戦場に向かった場所だ。鹿児島の旅のスケジュールにここの見学が予定されていたが、数人の気楽な旅行だったのでここの見学は遠慮しようと思っていた。以前からこの施設の事は聞いていたので悲惨なあの事を知ることはとても嫌だったし、言葉ではとても表せない気持ちで死地に飛び立ったであろう人達を知ることは怖い事のようにも思ったのだ。でも、一人だけ離れるわけにもいかず結局最後からオズオズと入館してしまっていた。

そして、数多くの遺書・遺品を拝見し、海の底から引き揚げられた戦闘機を見、遺書や家族への手紙を出撃するまで書いていたという三角兵舎を見た時、私は自分を抑えることが出来ない程の強い衝撃を感じていた。

あの大きな飛行機に一人で乗って海に向かっていく時の気持ちを思うと、自分にそんな事が出来るのだろうか。絶対に出来る訳がない。あの強い意志はどうして育てられたのだろうか。半地下で造られた三角兵舎の板敷の場に敷き詰められた布団に座り、何を考え何を記したのだろうかと思った時不覚にも涙が出ていた。

今、私達の国は戦後70年間守られ続けてきた憲法の一部の解釈を変え、新しい法整備をしようとしている。戦争を放棄し、戦力及び交戦権を否認している憲法9条をあらためて解釈しなおして、集団的自衛権として同盟国が他国と争う時、日本に危険が及ぶであろう場合に同盟国を支援することは憲法に違反しないという事だそうだ。「神が存在しないという証拠はない。だから神は存在する」という議論があるとすれば、それは詭弁と言うのだそうだ。

私達は私達が持つ歴史をしっかりと振り返り、あのような悲惨な時を決して繰り返してはならない。人間に欲望がある限り、平和な世界を求め続けることは難しい事なのかも知れない。人がより良く生きたい、幸せになりたいという願いの実現にどういう手段があるのかを、今こそ深く考える時にあるように思う。

気の置けない仲間達との旅は、とても美味しい薩摩焼酎に加えて様々な思いをお土産にした想い出深い旅になった。

着任挨拶

着任のご挨拶

田尻 和久



4月から佐久地方事務所建築課に配属された田尻と申します。

思い返しますと佐久地方事務所には平成18年から4年間在籍し、平成22年3月に転勤しましたので、5年の歳月が流れていたこととなります。

職業柄、県内一円を転勤する立場ですので、この短い間隔で佐久地方事務所に戻ることは珍しく、これも何かの縁があったものと考えています。

4月に赴任してから、久しぶりにお会いした方々は5年経っても変わりなく安心した反面、5年を経たら変化を感じることもありました。

例えば、

- ・延べ面積100㎡程度の規模の住宅の建築が多くなった
- ・太陽光発電のために片勾配の屋根の住宅が増え、北面の壁の高さが目立つようになった
- ・農地を転用した太陽光発電設備が非常に多くなり20年後が心配になった
- ・民間の確認検査機関への申請が増加した（が仕事量が減らないのは何故？）
- ・佐久穂町や佐久市の浅科・望月地区が都市計画区域に入っていた
- ・中部横断自動車道が佐久南インターまで開通していた
- ・人の考え方や行動が都会的になった
- ・商店街に人がいなくなった
- ・自動車の運転マナーが悪くなった
- ・美味しいラーメン店が増えた

と、様々なことがあります。これは佐久地域に限らない傾向のような感じもします。

また、この間には東日本大震災もあり日本全体でも変化がありました。これからの佐久地域は私が5年間で感じた以上に大きく変わっていくものと思います。

そのような状況の中で建築士の方々が関わっていただけることは数多くあると感じています。

特に現在、活躍が目覚ましい青年委員会の建築士の方々が地域でどのような役割を果たすのかを期待しつつ、ベテランの方々にも熟練の技を見せ続けていただきたいものです。

今後、建築士会の会員の皆さんの力でこの地

域により良い変化が現れるよう期待しています。

私も自分なりにこの地域により良い変化が現れるよう頑張ります。

着任のご挨拶

塩川 直



4月より佐久地方事務所建築課に配属となりました。塩川 直と申します。

県職員になり5年目となります。佐久地方事務所建築課へ異動になる前の勤務先が岩手県庁でした。突然ですが、ここから岩手県について書かせて

いただきます。採用3年目の7月より今年の3月までの1年と9ヶ月間、東日本大震災からの復興（災害公営住宅の建設）に携わらせていただきました。被災地の大部分は瓦礫が撤去され一面に草が生い茂っておりました。地震による津波は家だけでなく街全体を飲み込みました。

しかし、大震災がもたらしたものは被害だけではないように感じております。『絆』と叫ばれたように、人と人の繋がりの大切さを改めて認識、共有できたのではないかと。不謹慎ではあるかもしれませんが、個人的にも素晴らしい経験をさせていただきました。派遣職員として岩手県の皆様はもちろん、北は青森県、南は鹿児島県の方々と仕事を共にする中で普段とは違うものの見方、考え方、取組み方を肌で感じました。

さて、岩手県盛岡市の食についてご紹介させていただきます。岩手県盛岡市の『3大麺』といえば、「冷麺」、「じゃじゃ麺」、「わんこそば」です。冷麺について、焼肉屋へ行って冷麺のみを食べるお客さんが少なくありません。

「盛岡冷麺」と言っているのは県外の人だけと言ったところでしょうか。じゃじゃ麺については、その味に賛否両論がいつも巻き起こります。表現しづらいため味わっていただくしかありません。（私）わんこそばは言わずもがなひたすらに食べる（飲み込む）に限ります。男性平均40杯～60杯（ざる1人前15杯換算程度）と言われる中（店によっても違いますが）、よく行かせていただいたお店の最高記録はなんと500杯を超えておりました。500杯は軽い！と感じた皆様方、ぜひ東北、岩手県へ足を運んでいただきわんこそばだけは言わず名物（前沢牛や短角牛などの牛肉も有名です！）に舌鼓を打っていただきたいと思います。

それでは、今後ともよろしく願いいたします。

着任のご挨拶

堀内 央貴



4月より佐久地方事務所
所に配属になりました堀
内央貴（ほりうち ひろ
き）と申します。

私はこの春から長野県
職員として働き始めたば
かりです。大学では建築
学科において建築史を専
攻していました。その関係もあり、昨年まで川
崎市立日本民家園という建築博物館に勤務して
いました。日本民家園は、高度経済成長によっ
て急速に姿を消しつつあった歴史ある住宅の保
護を目的として昭和42年に開園した野外博物館
で、全国から移築された江戸時代の古民家を維
持保存・展示しています。私はここで建物の管
理や展示会の企画などに従事していました。ちな
みに日本民家園には25棟の古民家がありますが、
そのうちの3棟は長野県から移築されていま
す。旧三澤家住宅（伊那市）、旧佐々木家住宅
（旧八千穂村）、水車小屋（長野市上ヶ屋）です。
川崎に立ち寄る機会がありましたらぜひ足を運
んでみてください。

私は埼玉県の出身で、大学・社会人時代は神
奈川県で過ごしました。これでは長野県と縁も
ゆかりもないようですが、父方の祖父母が東御
市に、母方の祖父母が小諸市に住んでおりました
ので、幼少期の夏休みは毎年長野県で過ごす
のが常でした。私が生まれた町は、いわゆる都
心のベットタウンとして開発された新しい町で、
歴史的文化的特性、地理的特性に乏しい地域で
した。そうした環境で育った私にとって、自然
豊かな信州で過ごす夏休みは貴重な時間であり、
なりより楽しいものでした。家族でカブトムシ
採集にいたり、川で遊んだり、バーベキュー
をしたことは忘れられない思い出です。また、
私は、一昨年、東御市出身の女性と結婚したこ
ともあり、信州は第二の故郷のように感じてい
ます。

こうした経緯もあって、初任地が東御市や小諸
市に近い佐久地方事務所との知らせをいただ
いた時は、ただならぬご縁を感じずにはいただけ
ませんでした。この地で県職員としてのスタート
を切ることができることを大変嬉しく思ってい
ます。

まだまだ若輩者ゆえ、皆様におかれましては、
何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上
げます。

新入会員の声

新津 加奈子

この1年非会員としてでしたが、会社の上
司の進めにより青年女性委員会の活動に参加さ
せて頂きました。以前の佐久穂町での活動、活
躍を上司より聞いて知っていましたので興味も
あり誘われるままに会議等へ参加しました。

何もわからないまま小諸市のまちづくりプロ
ジェクトがスタートしました。最初は会議の内
容もレベルが高く、ついていくのがやっとでし
たが、委員会のメンバーとも仲良くさせて頂
き、次第に楽しみになっていました。

参加した内容は地図のトレースや地域のお宝
さがしへの参加、アンケート回収、シンポジウ
ムのお手伝いなどです。シンポジウムでの信州
大学学生の調査発表は小諸市を客観的に、若い
目線で調査をしていて新しい見方を知り、とて
も興味深い内容でした。回収したアンケート内
容も小諸市民の率直な意見を聞くことができ、
とても新鮮でした。

3月には関東ブロック大会の前哨戦でもある
集いに行き、他地域での活動内容を聞いたり、
懇親会では他地域の方との交流をしました。

そして先日行われた関東ブロック大会。なん
といっても最優秀賞を受賞！微力ながらこの1
年間佐久青年女性委員会の一員として活動でき
たことをとてもうれしく思いました。今まで同
じ地域で同じ建築の仕事をしている人たちとの
交流の場もなく、出会うこともなかったのです
が、こんなに身近ですばらしい活動をしている
場所があったことに少しショックを受けました。
早く参加すればよかった。イメージとして堅苦
しそう、面倒くさそうというのがあり、なんと
なく敬遠してきました。同じように感じている
人はきっと若い人の中には沢山いると思います。
ですが、この1年長野県その他地域の方、関東ブ
ロック大会では県を超えて沢山のひとと出会う
ことができ、活動を知ることができました。この
ことは私個人にとっても大きな財産になり、こ
れから仕事をしていく上でもよい刺激となっ
ていくと思います。

これからは正会員としてよりいろいろな行事
や活動に参加して自身の知識の向上と、人との
出会いを増やしていきたいと思えます。

賛助会員の紹介

株式会社 ケンショウ

長野県建築士会佐久支部会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、昭和9年に南佐久の地に『井出建商』として創業し、昭和58年に『株式会社 ケンショウ』として設立いたしました。平成8年佐久市に“佐久店及びショールーム・生活館”を新設、平成27年6月27日“新ショールーム佐久店をグランドオープン”いたします。

弊社は、建設・住宅に関する資材の販売と、それに伴う修理・リフォームを手掛けております。商品の機能を最大限に活かすご提案や工事は弊社の得意とするところであり、お客様に安心・満足していただくことが私たちの使命でもあり、やりがいです。

地域密着をモットーに、たくさんのお客様から頂戴した長年にわたる信用は当社の大切な資産です。

「我が家のお医者さん」と、お客様に言っていただけるよう、これからもスタッフ一同、知識・技術の向上に努めて参ります。

最後に、長野県建築士会会員の皆様のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

主な事業内容

1. 建築資材・土木資材の販売
2. 住宅サッシ・ビル用サッシの販売及び工事
3. 建具・家具・ユニットバス・キッチン・トイレなどの住宅設備機器の販売及び工事
4. 建築工事・建具工事・内装工事の請負
5. 門扉・門棚・外灯・ベランダ・テラス等の住宅付属設備備品の販売及び工事
6. 外壁工事・塗装工事・防水工事の請負
7. 管工事・設備工事・消防設備工事の請負

株式会社 竹花組

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、大正11年創業以来、「快適な環境の創造」をモットーに、常に時代のニーズに応え、確かな技術でお客様からの信頼・信用を得ることに誠心誠意努力して参りました。

バブル時の好景気時期にも、自社の経営理念を見失うことなく、本業一筋で今日まで堅実に一歩・一歩成長を図り、その結果として、社会的信用度（財務体質）は高い評価を頂いております。

日本の経済社会が、未来の評価に耐え得るよう、今後は「確かなもの（作品）を世に遺し、お客様に感動をもたらす」をコンセプトに高品質・高付加価値な建設サービスの提供を目指します。

これからも、お客様に、より最上級（e s t）の満足を頂きますよう、「快適・安心・幸せ」をキーワードに、確かな技術と心のこもったサービスの提供し、皆様から信頼され信用される企業で有り続けるよう、全社一丸となって邁進してまいりますので、どうぞご期待下さい。

最後に皆様方の益々の御活躍、御発展を心より御祈り申し上げます。

代表取締役社長 矢野 健太郎

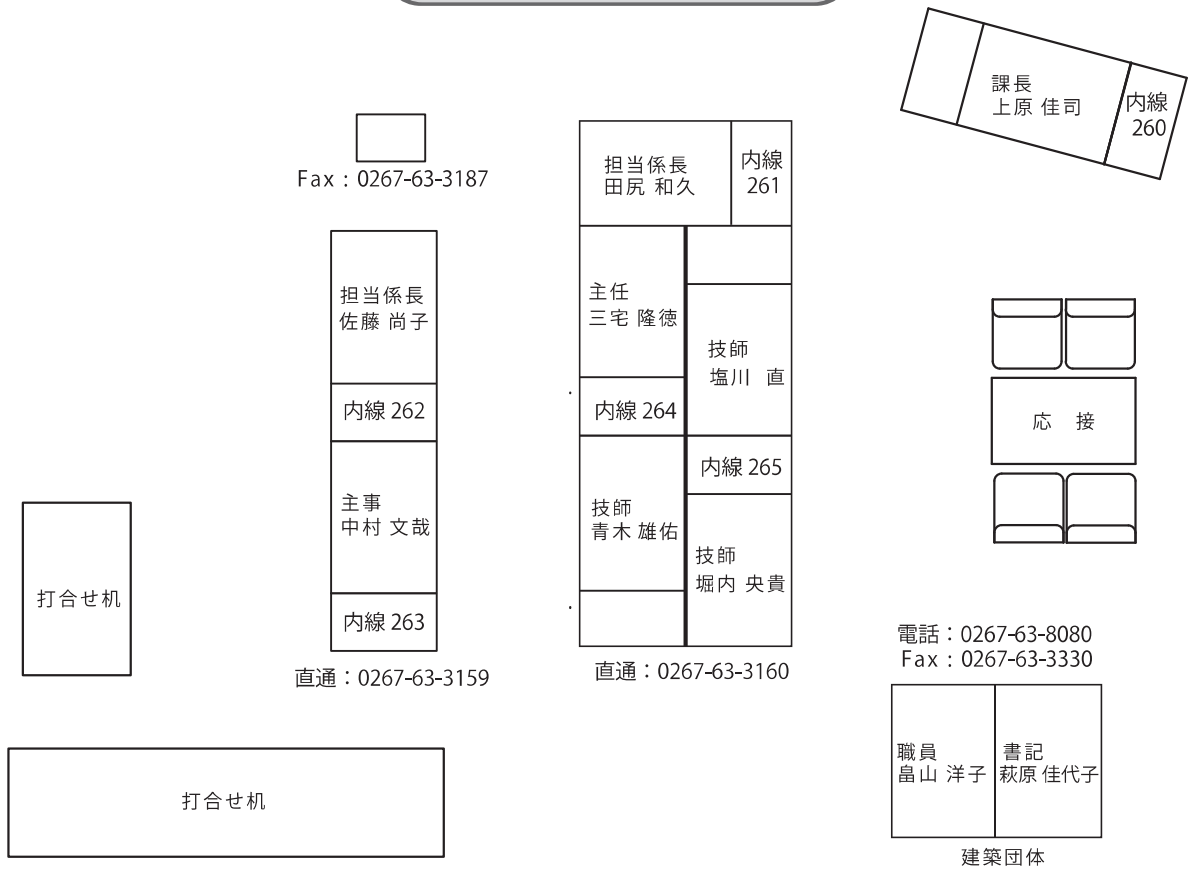
（経営理念）

時代のニーズに適応した確かな技術で快適な環境を創造することで、社会に貢献しながら企業価値を創出する

主な事業内容

- ・ 総合建設業 土木建築及びその他建設工事全般に関する請負
- ・ 石油事業部 石油製品の販売
- ・ 望月アスコン事業部 アスファルト合材の製造販売
- ・ 佐久チチブ生コン事業部 生コンクリートの製造販売
- ・ 佐久砕石事業部 砕石の製造販売
- ・ 不動産事業部 宅地造成及び不動産の売買管理
- ・ 一級建築士事務所 設計及び工事監理の業務
- ・ 技術管理センター 土木建築材料試験及び品質管理業務
- ・ 建設機械リース事業部 産業機器及び建設機械の賃貸業務

建築課配置図



速報

**青年女性委員会、
関ブロ群馬大会で
“最優秀賞受賞”**

平成27年度 関東甲信越建築士会ブロック会
青年建築士協議会 群馬大会

まちづくりの変革に挑む
～小諸のまちなみと市民の声～

平成27年6月19日 第一分科会 各都県活動報告で、佐久支部青年女性委員会は上記の活動報告で最優秀賞受賞
次は全国大会、金沢へ



● 編集後記 ●

「関東ブロック大会最優秀賞受賞」。
佐久支部青年女性委員会の小諸での活動が関東ブロック大会（群馬）にて最高賞を受賞。おめでとうございます。
10月の全国大会においても佐久支部及び小諸をアピールしてきてください。応援しています。（Y）

会報『ちくま』第53号 2015/7
発行者 (一社)長野県建築士会 佐久支部 情報広報委員会
事務局 〒385-8533 佐久市跡部65-1 佐久地方事務所内
TEL 0267-63-8080
FAX 0267-63-3330
E-mail:ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
支部HP http://www.aba-saku.com/
印刷所 プリントショップ コスモス
TEL 0267-54-8010



は平成28年1月中旬予定です。